

おあしす



特定医療法人 **南山会**

親切 安心 信頼

峡西病院・峡西老人保健センター・きづな
・アルプス訪問看護ステーション

2018

8

第32巻8号
(通巻372号)



歴史というものは茫漠たる時間のなかで生きた無数の人間が積み上げてきた無数の人生の集積なのだと思うと、人間というものがいささか愛しく感じられます。西暦79年8月24日、ヴェスビオ火山の噴火による火山灰と火砕流によって一瞬のうちに廃墟と化したポンペイの町は、そこに生きた人びとの当時の姿を留めたまま、目の前に横たわっています。繰り返し手を着いたためにすり減った石、娼館の入り口に掲げられたサービスの内容を示すモザイク、子供が作った粘土細工の犬、そんなものを見ていると人間が無性に愛しくなって来るのです。二千年を隔てたいま、遺跡の隣にはまた新しい町並みが整備され、多くの人たちが暮らしています。



峡西病院の理念

「その人らしさ100%」

峡西病院の方針

1
説明と納得の
医療

2
多職種の連携

3
「ここちよさ」の追求

4
社会参加の推進

交代人事のお知らせとご挨拶

平成30年7月1日付にて、峡西病院院長に川崎洋介、南山会理事長に浅川理（前院長）、会長に川崎光洋（前理事長）が就任いたしました。

なお、院長交代後の浅川理の診療はこれまでと同様に行ってまいります。新体制となりました特定医療法人南山会峡西病院を今後ともよろしくお願い申し上げます。

院長就任のご挨拶

川 崎 洋 介



平成30年7月より、前任の浅川院長を引継ぎ峡西病院の第4代病院長を務めることになりました。若輩者ではありますが、宜しくお願い申し上げます。

峡西病院では、「その人らしさ」を100%実現していくことを理念としていますが、私も引き続きこの理念を実践していくこととお約束申し上げます。そして、患者様やご家族はもちろんのこと、医療スタッフを含め病院に関わる全ての方が、その人らしさを持てる病院にしていきたいと思っております。

私は、医療スタッフが生き生きとその人らしく働いている病院であるからこそ、患者様に生き生きとした医療サービスを提供していくことができるものだと思っております。

また、精神医療は単に病気を治療するだけの時代から、病気や障害を持ちながらも充実した生活を行えるようサポートしていく時代が変わってきております。どんな人もひとりでは生きてはいけません。病気や障害を持ちながら生きていくためには、どうしてもサポートが必要ですし、生活していくためのリハビリテーションが必要になるものと考えております。そこで、今まで以上にリハビリテーションを中心とした医療を推進していくことで、患者様がその人らしく社会の中で活躍していけるようにしていきたいと思っております。

その人らしく社会の中で生きている患者様の姿が、医療スタッフを元気づけ、患者様に生き生きとした医療サービスを提供していけると、「その人らしさ」の正の連鎖を生むことで、峡西病院をより良い病院に発展させていきたいと思っております。

峡西病院の理念

「その人らしさ100%」

専門的知識と技術を用い、自立性の回復を通して、その人らしい生活ができるよう支援する。

基本方針

- ① 十分に話を聞き、根拠に基づいた適切な診断を行い、提供可能な治療方法を説明します。その上で可能な限り、ご本人の同意に基づいた選択により最善の医療を行います。
- ② 多職種が連携し、精神科専門職であることに責任をもって、すべての行動が常に治療的であることに配慮します。
- ③ 療養環境を「剥ぎ取るな、与えよ」をキーワードとして「ここちよさ」を追求したものに整備します。
- ④ 精神障害者の社会参加を積極的に推進し支援します。また地域での精神保健福祉活動に参加し、啓発活動に協力します。

理事長就任のご挨拶

浅川 理

普通に書いたんじゃ面白くないかな、と会長は指示して日本を離れたので、私らしく挨拶させていたただく。昨今「理事長」というイメージは全くブラックだから、打診された時、俺もブラックになっっていくのか・・・と、不整脈になり胃は痛み、とにかく来し方行く末を考えた。「数字が読めんのは、ご存じでしょう？それを承知で本当になれとおっしゃるので？」と任侠の世界のようにやりとりしたが、それでもというので

「わかりやした」と腹をくくった。

名前が「理」だから「理ジチヨ」とでも呼んどいて〜とふざけてもいられないが、運営はこれまで通り「大衆芸能路線」。プロはどんな演芸場やライブハウスでも、機材がおんぼろでもしつかりとその人らしい舞台がこなせる。向こう10年ほどおそらく2つの箱物を作ることになるうが、最も大事なものはピン芸人でも通用する人材だ。スタッフをプロにするための教育にお金をかけたいと思う。

利用者と職員にとって「安全」な環境を整備し、病んだ人の自己治療力を「阻害しない」治療を提供し、さらに「強くなる」リハビリを通して、生活をそのひとらしく送れるよう支援することに「多職種チーム」で尽力することを基本方針として表明したい。

芸人「ひろき」師匠はウクレレ漫談でこう歌う。「明るく陽気に、いきましよう〜」興味のある方は検索してほしい。これまでもこれから苦しいことはあるだろうが、私のスピリットは「ひろき」だ。

理事長退任のご挨拶

川崎 光洋

南山会の理事長を退任いたしました。平成八年に就任以来、二十二年の長きにわたりご支援、ご協力をいただきましてことをお礼申し上げます。

この間、他の病院に先駆けて、入院環境の整備、外来機能の充実、社会復帰施設の設置など改革を進め、精神障害者や要介護老人の医療・福祉の向上ために努力してきました。また意欲が満たされ、働きやすい雰囲気の中で、だれもが働きやすい職場づくりに注力しました。

医療費削減をもくろむ行政や診療報酬という枷に縛られながらも、現実には墮すことなく、質の高い医療・福祉の道を追求めてきました。多くの素晴らしい職員に助けられ、私が描いたビジョンはおおむね達成できたと自負しています。峡西病院を中核に、私が手掛けた峡西老人保健センター、障害者福祉施設きづな、アルプス訪問看護ステーションを配する布陣はいまや盤石です。

しかし医療を取り巻く環境は激しく変化しており、過去の成功体験に安住しているわけにはいきません。未来を見据えたかじ取りが必要で、この機に人心を一新することが



今後の南山会の発展に寄与すると考え、肩の荷を下ろすことにしました。老子曰く「功遂げ身退くは、天の道なり」。自然に生きるものはすべて、自分の役割が終われば土に帰って行きます。役割を果たしたのに地位や名誉に執着し、ずるずると物事にこだわるのは自然に反し、いずれ醜態をさらすことになりかねません。

とは言え、私が本当に土に帰るにはまだ多少の時間が残されているでしょう。いまこそ俗世を捨て、執着を放棄し、ゆったりと仙界に遊びたいと考えています。

わがままに生きる喜びいわし雲

セタゲーム大会

じゃんけんずもう

今年も外来の患者様3名が大関・関脇・横綱役を受けてくれました。「じゃんけんに勝たせてあげたい」との思いがありながらも自分が勝ってしまったと申し訳なさそうに話してくれました。



射的

前日から「コーヒーが欲しいです」と言っていた方は、1番に来室し1発目にコーヒーをゲットしました。目標を持って参加に望み、それがかなえられる凄さに驚かされました。その後もコーヒーやラーメンを狙う人が多くあった。



OTだより

ピンボール



引く棒がなかなか離せない人が多くいましたが、上手な人は引くタイミングがよく、手を離していました。ピンボールを始めてから、3回とも100点を出した方は初めてです。満点を出した方はリスタートの方は、ゲームセンターで行ったのを、手が覚えていたのですね？

ホールインワン



1回2回とホールインワンを入れた人は多くいましたが、今年はホールに3回入れる人はいませんでした。洗濯洗剤がもらえたのですが、狙いすぎたのでしょうか？
来年は頑張って洗濯洗剤をゲットしてください。

デイケア Channel チャンネル



院内畑にて主に農作業を行っています。季節ごとに苗を植え、大きく育てて収穫しています。また採れたての野菜を簡単に調理し、皆さんで試食もしています。実際に畑に出て活動するため季節感を感じることが出来、様々な事を体験できます。興味がある方は、是非一緒に畑に出てみませんか。



今月の デイケア活動紹介

園芸

《プログラム名》

《活動日》

毎週金曜日午前

《活動内容》

ろうけん Times ★

猛暑の日々が続いています。そんな暑さの中、そうめん会を7月に開催しました。暑い中流れてきたそうめんを皆楽しそうに箸でつかんでいました。目でも楽しめ、冷たいそうめんに舌鼓しました。



健康情報コーナー

糖尿病の方の食事のコツについて

今回は、糖尿病の方の食事のコツについて、管理栄養士の酒井美恵子リーダーにお聞きしました。

🍷 ゆっくりよく噛んで、食べましょう

早食いは厳禁です。早食いをすると、血液中の糖をエネルギーに変えてくれるインスリンが追い付かず、正常より血糖値が高いままになってしまいます。ゆっくりよく噛んで、料理を楽しみながら食事をしましょう。

🍽️ 3食を均等にバランスの良い食事を心がけましょう

1日の血糖値をうまくコントロールするには、3食の食事が偏らないようにすることです。特に、炭水化物の摂りすぎは注意が必要で、ご飯+麺など炭水化物の重ね食いは、糖質の摂り過ぎとなり、血糖上昇の大きな原因となります。

🥬 野菜・海藻・きのこをしっかりと食べましょう

食物繊維は、食べたものの吸収を遅らせることで、食後の血糖値の上昇を、緩やかにしてくれます。毎食ごとに、食物繊維をたくさん含む野菜・海藻・きのこをしっかりと摂りましょう。

🍬 甘いものはできるだけ控えましょう

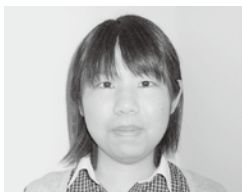
お菓子類は、多量の砂糖や油を含んでいるため、血糖値や体重に影響を及ぼします。食べたい時は、夕食後を避け、カロリーの消費しやすい昼間に、1回80キロカロリーくらいまで、週3回程度を目安にしましょう。

🍎 果物を食べすぎていませんか？

山梨県はフルーツ王国です。つい食べ過ぎてしまう人も多いでしょう。果物の糖分は「果糖」と呼ばれ、ブドウ糖と同じく非常に吸収が早いので、血糖上昇作用が強いです。そのため1日の1単位（80キロカロリー）を目安にしましょう。バナナなら1本、リンゴなら半分、みかんで2個程度です。



◆趣味…音楽鑑賞
◆出身地…中府市
◆好きな言葉…縁（えん）



加藤 友里
精神保健福祉士
(相談心理グループ)

◆趣味…テニス
◆出身地…山梨県
◆好きな食べ物…ラーメン
◆好きな有名人…新垣結衣



久保田涼太郎
医師
(診療グループ)

新
入
社
員
紹
介

「患者と医療者のパートナーシップ」指針

■基本方針

当院は最適な医療を提供すると同時に、患者様やご家族の医療や療養に対する希望・自己決定権を尊重して、患者・医療者のパートナーシップを大切にします。

■具体的対応と要望を反映するしくみ

- ・入院時診療計画を説明し、同意を得た上で文書を提供する。(医局・看護部)
- ・月ごとの総合診療計画実施書を説明し、同意を得た上で文書を提供する。(作業療法室)
- ・カンファレンスへの家族参加の呼びかけ。
- ・在宅に向けた医療スタッフの訪問と療養環境整備目的の相談を受ける。(訪問看護室)
- ・ソーシャル・スキル向上目的の訓練計画の立案へ、患者・家族の参加の呼びかけ。(臨床心理室・デイケア室)
- ・アンケート調査を通じて、要望事項の確認と対応の公開をする。(事務部)
- ・「ご意見箱」により病院管理者へ意見が届き、対応内容を院内に公開する。(接遇委員会)
- ・「家族教室」を定期的に開催し、必要な情報の提供と相談に応じる。(医療相談室)

■患者・医療者のパートナーシップを継続的検討

- ・指摘された問題や要望については、定期的な検討を行なっています。

万華鏡

豪雨により被害に遭われた西日本の方に、心よりお見舞い申し上げます。

私の住む富士川町でも、昭和34年の台風7号により利根川の土手が決壊し、浸水で甚大な被害に見舞われ、住民は船で避難したと聞きました。今でも後世に語り継がれています。

あれから59年近くたっています。テレビで見る惨状は私の町で起きた昔を見ているようで心が痛みます。いつ、どこで、どのような災害

私の趣味は釣りです。四年ほど前からワカサギ釣りに魅力を感じ、冬になると富士五湖へ向かいます。氷点下十度を下回る湖での釣りは過酷ではありますが、それが醍醐味であるとも言えます。

ワカサギ釣りは、初心者と熟練者の釣果に大きく差が出る釣りと言われており、技術が向上したのが目に見えてわかる釣りであると思います。魚の活性度・魚のいる棚・えさの動かし方などその日によって調節をしていかなければならないのはどの釣りも一緒ですが、ワカサギ釣りの場合は釣れている時間・場

私の趣味

所でいかに多く釣り上げるかということとで「手返し」が重要になってきます。ここの出来によってその日の釣果が変わってくると言っても過言はありません。しかしながら、まだまだ私は初心者の域・・・周りで大量に釣り上げる玄人達の竿の先を羨ましそうにみている時間もあります。せっかく始めた趣味ですので、毎年勉強しながら続けていきたいと思っています。

峡西老人保健センター

長澤 奏太

が起こるのかわからないのは、今も昔も変わらないのだと実感させられました。

災害が起きたとき大切なことは迅速な判断と行動です。

実際に起こったら、パニックになりどうしたらよいのかわからなくなってしまうのが常ですが、職場、家庭、車での移動中など災害はいつ起こるかわかりません。どんな場面でも冷静に判断し、災害に備えていきたいと思います。

今すぐ、私たちに出来ることは何かを考えてみました。

家庭内の備蓄品を確認し、食品や飲料の賞味期限を確認。また、ラジオなどの機器は故障がないか定期的にチェックをしておくことが必要。

避難所や広域避難所への経路を休

日などを利用し、実際に歩いてみるのもよいと思います。家具の配置、固定等を災害が起きた時をイメージして、家の中に危ない物や注意すべきことは何か、日頃から確認することも必要です。災害は家族がそろっている時に発生するとは限らず、連絡が取れない場合も考え、待ち合わせ場所や避難場所を話し合っておくことも大切です。また、日々の生活において近所の人たちと多くコミュニケーションを図っておくことも重要です。

最後に、あらためてご冥福をお祈りいたします。

峡西老人保健センター

望月 由美

こちら編集室

今年は記録的に早い梅雨明けでしたね。このおあしすを編集している7月中旬の今は猛暑日が続き、熱中症を注意喚起する報道が続いています。このまま厳しい暑さが続くのかと思うとめまいがします。

毎年、今年は格別に暑いんじゃないか？ 夏ってこんなに暑かったわけ？ と去年の暑さを思い出そうとするのですが、たいてい思い出せません。のど元過ぎれば、というやつなのか、今年の暑さもそのうち忘れてしまうのか。いやいや、やっぱり今年は特に暑い気がする・・・などとグズグズ毎日进行しています。

しかし、今号のおあしすが発行されるとまもなく、暦の上では「秋」になります。8月7～11日頃の七十二候は「涼風至^{すずかぜいたる}」！ 涼しい風が立ち始める（はずの）頃なのだそうです。

今年の「夏」も残すところ数日。そういえば今年は平成最後の「夏」でもあります。そう思うと、この暑さも尊いような気がしてきます。考えてみれば夏至はとくに過ぎていくのだから、陽が沈む時間は毎日早くなっているんですよ。夕暮れ時に探してみれば、秋の気配があるかもしれません。涼しい風を待ちながら、残る夏を楽しんでみたいと思います。（き）

今月の予定 8月

- 4日 南山会夏祭り
14日 LM委員会
15日 広報委員会
27日 クリニカルパス委員会

今月の一枚

クレル病棟農園のトマト。
この暑さのなかでも
みずみずしく
育っています。



おあしす 広場

今月もおあしすに素敵な作品が寄せられました。

田植え終え 気をつかいしも ぼっとする 石川 理

高校生 興味をもつて 啄木忌 今福 和人

穏やかな外の気配に早朝に 郭公の鳴く聞々入りし寝間

大森真知子

星影の ワルツ響や 侍せに 長畑 章弘

太陽に 海はひろいな 大きな 渡辺 暁

※掲載は五十音順です。

■訂正とお詫びのお知らせ

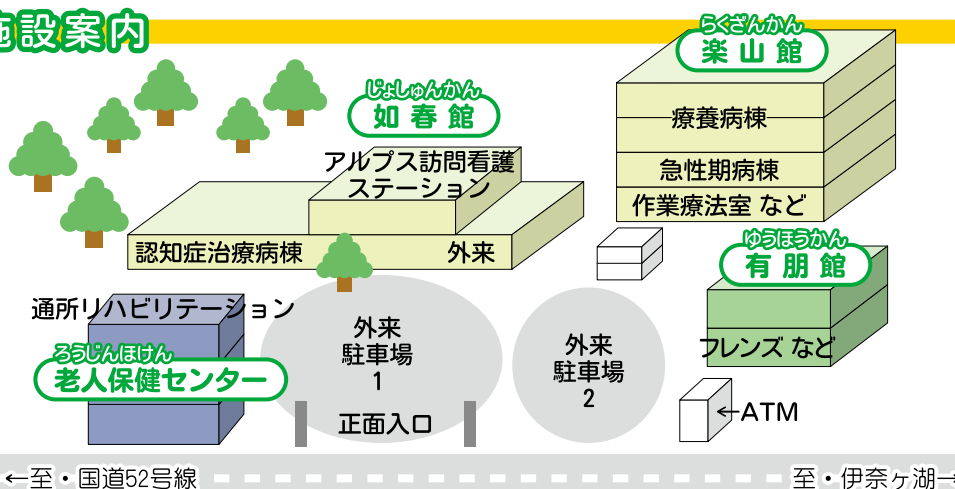
2018年7月5日発行の本誌(通巻371号)に左記のような誤りがありました。ここに訂正して深くお詫び申し上げます。

※「万華鏡」コーナーの執筆者名

(誤) リスタート病棟 佐野喜久美

(正) 峡西老人保健センター 立川 由美

施設案内



交通案内

- JR中央線
甲府駅より車で40分
- JR身延線
東花輪駅より車で15分
- 中央高速
甲府昭和ICより車で30分
- 中部横断道
南アルプスICより車で5分
- 山交バス
甲府-南アルプス市甲西支所行き
(十五所経由) 鰍沢営業所行き
(西野経由) 鰍沢営業所行き
小笠原下仲町バス停徒歩5分

月刊おあしす第372号 1987/9/5創刊

発行所

〒400-0405 山梨県南アルプス市下宮地421
TEL 055-282-2151 FAX 055-284-4886
URL <http://www.nan-zan.or.jp>

特定医療法人 南山会

* 広報委員会 *

若杉 雄司、齋藤 由布、坂本 幸廣、近藤 忠彦
楚村 麻美、佐藤和加子、高根 綾、櫻井 千恵

次回373号も
お楽しみに!